
++黒翼達の夜会++ Loneliness

s i z u y a 薬師

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

++ 黒翼達の夜会 ++ Loneliness

【ZPDF】

Z9391A

【作者名】

sizuya薬師

【あらすじ】

戦場の中で、女は『孤独』だった。果てしなく続く戦友と敵の『死』の中で、女は何を思うのだろう。

(前書き)

++注意++

この小説には、少々グロイ表現が含まれております。
苦手な方は、ご遠慮することをお勧めいたします。

生きるために

私は強くなつた

戦場に行つて

負けを認めたら

死を意味するから

がむしゃらに

手に入れた力

私はいつの間にか

『孤独』

になつていた

* * *

しばしの休息は、いつもつかの間に終わつてしまつ。

遠くもなく近くでもない、非常に微妙な距離から、爆発音とともに
火薬の匂いがした。

女は起きた。

一見幼いが、身体に浮かぶ凹凸は見事で、非常に曖昧だが魅力的だ

つた。

今はところどころ切り傷だらけだが・・・
そして、その手には女には似つかわしくない、銀色の装飾銃が握られていた。

目の前はうつそうとした密林が広がっており、匂いはその奥からした。

泥と密集した草木の間を、まるで野生の獣のように、静かにゆっくりと歩を進めていく。

やがて、爆心地と思われる場所にたどり着いた。

そこには、草木が焼けてできたクレーターと、おびただしい人の焼けた死体が数体あつた。

その中に、知り合いはない。

仮にいたところで、弔いも何もしてやれない。

女は胸の前で十字を切り、焼け焦げ異臭の漂う死体の口唇にそつ・・
・と手を触れる。

(まだ、十分も経っていない)

女は辺りを慎重に見回し、銃を握り締め警戒する。

パキッ・・

左斜め後ろから枯れ木の割れる音。

女は手に握り締めていた銃で、迷わず撃つた。

「パン」と軽い音がし、数秒後にそれは地に伏した。

叫ぶ暇なく殺したのは、まだ小学生になるかならないかの年頃の少年だった。

少年の顔は苦痛にゆがみ、もみじのような小さな手には手榴弾が握り締められていた。

戦争は必ず多くの犠牲を出す。

それが悲しく。

それを止めることもできない自分が憎い。

答えを教えてよと本気で願ったのに

今だに出ない。

「『めんね』

女がそう呟くと、ぽつんと水滴が頬を叩き、やがてそれは途切れ
ない連打へと変わった。

+ + e n d + +

(後書き)

ただ単に、戦争がもたらす悲しみを書きたかつただけの小説です。

この小説のキャラクターはいつの日かわかりませんが、連載小説に
再度登場します。
見ていただけるとありがたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9391a/>

++黒翼達の夜会++ Loneliness

2010年10月10日05時53分発行